

建築版	施工段階	設備工事：	電気	○	設備工事 ポイントシート (1-2)
1-2	着工時	設備施工図・機器製作図等の 作成計画	空調	○	
			衛生	○	
			その他	—	

施工図等の内容や出来栄によっては建設工事の品質や工程、建設コスト、建物使用開始後のランニングコストやメンテナンス費用に影響します。

施工図や機器製作図はできるだけ早く作成することを確認しましょう。

正しく分かり易い施工図は、品質確保や作業効率向上に繋がります。

ポイント

- ・ 建築・設備それぞれが必要な製作図をリストアップし、工事工程に合わせた作図工程を立てます。
- ・ 事前に施工図に反映すべき情報を工事関係者間で共有します。
- ・ 設備施工図の作成に必要な情報を集めます。
(例) 躯体図等の建築図面や他工種の図面や各種製作図、機器製作図等の作成スケジュールを確認します。
- ・ 各工種間での取合いを確認し、設計や発注者の承諾を得るためのスケジュールを計画します。
- ・ 各機器の製作期間や搬入方法、試運転期間などが工程計画・施工計画に反映されているか確認します。
- ・ 各機器の寸法や重量、据付方法が機器製作図と設備施工図とで相違ないか確認します。

先輩アドバイス

- ・ 「総合プロット図」を作成し、建築、設備間の設計上の情報を一元化して相互調整しましょう。
- ・ BIM を活用して3次元的に納まり調整や合意形成を効率的に行いましょう。
- ・ 設備の取り合いとなる躯体図、天井割付図等を建築から早期に提供しましょう。

チェック項目

- どの設備施工図がいつ頃までに必要か把握していますか。
- そのための情報を入手していますか与えられていますか
- 設備の工事内容を把握できていますか。
- 各機器の搬入計画が全体の施工計画と整合していますか。
- 建築を含めた関係者に情報共有が確実にできていますか。
- 分かり易く、間違いづらい図面となっていますか。

失敗すると...

- ・ 設備施工図作成や機器製作図準備の遅れが工事工程の遅れに繋がります。
- ・ 図面の間違いにより大幅な手戻りや品質低下が発生します。

設備施工図一覧の例	
受変電設備	単線結線図
	引込みケーブル配管配置図
	機器配置平面図、立面図
	機器基礎、床ピット平面図、断面図
	配管配線図
	盤類据付け詳細図
発電設備	接地極埋設詳細図
	機器配置平面図、立面図
	機器基礎、床ピット平面図、断面図
	配管配線図
	排気管取付図
	給油管及び給排水詳細図
蓄電池設備	機器据付図
	燃料タンク、減圧水槽据付図
	単線結線図
	接地極埋設詳細図
	機器配置平面図、立面図
	機器基礎、床ピット平面図、断面図
幹線設備	機器据付図
	結線図 系統図

共通管理項目	合理化省力化	施工性向上	品質・性能向上	工期短縮・圧縮	コスト削減(材料)	コスト削減(労務)	設備先行工事	工事区分見直し	責任所在明確化
		○	○	○	○	—	—	○	○
備考	参 考 文 献 :						初版発行	2020年12月	
							改訂		